

平成30年度政策評価・施策評価に係る評価結果一覧

参考資料2

<宮城の未来ビジョン>

政策・施策【担当課】	自己評価(前年度)	行政評価委員会の意見(答申)	行政評価委員会の意見を踏まえた県の対応方針	最終評価(前年度)	目標指標等	達成度(前年度)	前年度比較
政策6 子どもを生き育てやすい環境づくり ※保健福祉部子ども・家庭支援課で評価							
施策14 家庭・地域・学校の協働による子どもの健全な育成【生涯学習課】(P.1)							
やや遅れている (やや遅れている)	要検討	<p>&lt;施策の成果&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・評価の理由が次のとおり不十分で、施策の成果について「やや遅れている」とした県の評価の妥当性を認めることができない。最終評価を行うに当たり、評価内容を検討する必要があると判断される。</li> <li>・目標指標の達成状況に改善の見込みがない状況で、「やや遅れている」との評価を行うことについては、現在の記載だけでは判断が困難である。目標指標の重要性を踏まえ、評価を検討する必要があると考える。</li> </ul> <p>&lt;施策を推進する上での課題と対応方針&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・現在の目標指標について、目標値達成の可能性が無く、既に他の目標に切り替えて取り組んでいるのであれば、その旨を対応方針へ示す必要があると考える。</li> </ul>	<p>&lt;施策の成果&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・目標指標1について、朝食の欠食に関する指標は規則正しい生活習慣の定着を図る上で重要であり、幼児期からの働きかけも含め、引き続き目標達成に向けた取組を推進していく。</li> <li>・目標指標4についても、スマートフォンの長時間利用については、学力の低下や健康被害等の諸問題が多く指摘されており、重要な指標であることから、目標達成に向け長時間利用を抑制する取組を強化していく。</li> <li>・なお、具体的な成果や今後の対応方針等について、追記する。</li> </ul> <p>&lt;施策を推進する上での課題と対応方針&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・目標指標4について、前述のとおり重要な指標であると認識していることから、実態把握に努めながら、引き続き目標達成に向け取組を強化していく。</li> <li>・なお、具体的な取組の方向性について、対応方針を追記する。</li> </ul>	やや遅れている (やや遅れている)	<p>朝食を欠食する児童の割合(小学6年生)</p> <p>平日、午後10時より前に就寝する児童の割合(小学5年生)</p> <p>平日、午前6時30分より前に起床する児童の割合(小学5年生)</p> <p>「平日に、携帯電話やスマートフォンを勉強以外で使う時間が3時間以上」と答えた児童生徒の割合(小学5年生)</p> <p>「平日に、携帯電話やスマートフォンを勉強以外で使う時間が3時間以上」と答えた児童生徒の割合(中学2年生)</p> <p>「平日に、携帯電話やスマートフォンを勉強以外で使う時間が3時間以上」と答えた児童生徒の割合(高校2年生)</p> <p>「市町村家庭教育支援チーム」を設置する市町村数</p> <p>地域学校協働本部を設置する市町村数</p> <p>学校教育を支援する「みやぎ教育応援団」の登録数(企業・団体)</p> <p>学校教育を支援する「みやぎ教育応援団」の登録数(個人)</p> <p>学校教育を支援する「みやぎ教育応援団」の活用件数</p>	C(C) B(B) A(A) C(-) N(-) C(-) C(-) C(-) A(A) A(A) A(-)	→ → → 新規 新規 新規 新規 → → 新規
政策7 将来の宮城を担う子どもの教育環境づくり【教育企画室】(P.5)							
やや遅れている (やや遅れている)	要検討	<p>&lt;政策の成果&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・評価の理由が次のとおり不十分で、政策の成果について「やや遅れている」とした県の評価の妥当性を認めることができない。最終評価を行うに当たり、評価内容を検討する必要があると判断される。</li> <li>・施策に付した意見を踏まえ、政策の評価の理由を示す必要があると考える。</li> </ul> <p>&lt;政策を推進する上での課題と対応方針&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・施策に付した意見を踏まえ、課題と対応方針を示す必要があると考える。</li> </ul>	<p>&lt;政策の成果&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・委員会の意見を踏まえ、事業の成果や目標指標が改善されていない現状に対する対応方針等を追記し、より具体的な記載に修正した上で、再検討した結果、希望する進路の実現状況で成果が挙がっていること、不登校については、訪問指導員による支援や「みやぎ子どもの心のケアハウス運営支援事業」での実績など一定の成果が出ていること、体力・運動能力については、様々な取組により少しずつではあるが、状況が改善方向にあることなどを踏まえ、改めて「やや遅れている」と判断した。</li> </ul> <p>&lt;政策を推進する上での課題と対応方針&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・委員会の意見を踏まえ、学力向上対策、不登校児童生徒に対する対応及び体力・運動能力向上に係る取組について、具体的な対応方針等を追記する。</li> </ul>	やや遅れている (やや遅れている)			
施策15 着実な学力向上と希望する進路の実現【高校教育課】(P.9)							
やや遅れている (やや遅れている)	要検討	<p>&lt;施策の成果&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・評価の理由が次のとおり不十分で、施策の成果について「やや遅れている」とした県の評価の妥当性を認めることができない。最終評価を行うに当たり、評価内容を検討する必要があると判断される。</li> <li>・目標指標2の「全国平均正答率との乖離」が大きく、長年改善されていない中で、「やや遅れている」との評価を行うことについては、現在の記載だけでは判断が困難である。学力向上対策が急務となっている現状や事業の成果を踏まえ、評価を検討する必要があると考える。</li> </ul> <p>&lt;施策を推進する上での課題と対応方針&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・PDCAサイクルに沿った適切なマネジメントにつながるよう、学力向上対策が急務となっている現状を踏まえた課題と、課題の抜本的解決に向けた対応方針を具体的に示す必要があると考える。</li> </ul>	<p>&lt;施策の成果&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本施策は、幼児期から高校までの発達段階における目標指標を8つ掲げており、達成度「C」となった目標指標2以外の各指標については、全て「A」又は「B」の達成度となっている。</li> <li>・委員会の意見を踏まえ、目標指標2が改善されていない現状に対する対応方針などを丁寧に示す必要があると判断したものの、希望する進路の実現状況など、他の目標指標の達成状況等を改めて総合的に勘案して施策を評価した結果、施策の成果は「やや遅れている」と判断した。</li> </ul> <p>&lt;施策を推進する上での課題と対応方針&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・委員会の意見を踏まえ、加筆・修正を行う。</li> </ul>	やや遅れている (やや遅れている)	<p>「授業が分かる」と答えた児童生徒の割合(小学6年生)</p> <p>「授業が分かる」と答えた児童生徒の割合(中学3年生)</p> <p>「授業が分かる」と答えた児童生徒の割合(高校2年生)</p> <p>全国平均正答率との乖離(小学6年生)</p> <p>全国平均正答率との乖離(中学3年生)</p> <p>児童生徒の家庭等での学習時間(小学6年生:30分以上の児童の割合)</p> <p>児童生徒の家庭等での学習時間(中学3年生:1時間以上の生徒の割合)</p> <p>児童生徒の家庭等での学習時間(高校2年生:2時間以上の生徒の割合)</p> <p>大学等への現役進学達成率の全国平均値との乖離</p> <p>新規高卒者の就職決定率の全国平均値との乖離</p> <p>体験活動やインターンシップの実施校率(小学校での農林漁業体験実施校率)</p> <p>体験活動やインターンシップの実施校率(中学校での職場体験実施校率)</p> <p>体験活動やインターンシップの実施校率(高等学校でのインターンシップ体験実施校率)</p> <p>県及び県教育委員会が主催する幼稚園教諭、保育士等を対象とした研修会の参加者数(悉皆研修を除く)</p> <p>県立学校での一斉学習における「MIYAGIStyle」の実施校数</p>	B(B) B(B) B(A) C(C) C(C) B(A) A(B) B(C) A(A) A(A) B(B) A(A) B(B) B(-) B(-)	→ → ↔ → → ↔ → → → → → → → 新規 新規

<宮城の未来ビジョン>

政策・施策【担当課】	自己評価(前年度)	行政評価委員会の意見(答申)	行政評価委員会の意見を踏まえた県の対応方針	最終評価(前年度)	目標指標等	達成度(前年度)	前年度比較
政策7 将来の宮城を担う子どもの教育環境づくり【教育企画室】(P.5)							
施策16 豊かな心と健やかな体の育成【義務教育課】(P.13)							
やや遅れている (やや遅れている)	要検討	<p>&lt;施策の成果&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・評価の理由が次のとおり不十分で、施策の成果について「やや遅れている」とした県の評価の妥当性を認めることができない。最終評価を行うに当たり、評価内容を検討する必要があると判断される。</li> <li>・事業の成果が目標指標の実績値に反映されておらず、長期間課題が改善されていない中で、「やや遅れている」との評価を行うことについては、現在の記載だけでは判断が困難である。不登校問題への対応及び児童生徒の体力・運動能力の向上が急務となっている現状や事業の成果を踏まえ、評価を検討する必要があると考える。</li> </ul> <p>&lt;施策を推進する上での課題と対応方針&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・現行の対応では長期間課題が解決されていないため、学校のみならず、関係機関と連携した総合的・抜本的な対応が必要であることを踏まえ、県として危機感を持って、対応方針を示す必要があると考える。</li> </ul>	<p>&lt;施策の成果&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・委員会の意見を踏まえ事業の成果等を追記し、より具体的な記載に修正した上で、再検討した結果、目標指標のうち「不登校児童生徒の在籍者比率」及び「児童生徒の体力・運動能力調査における体力合計点の全国平均値とのかい離」が達成度0となっているものの、不登校については、訪問指導員による支援や「みやぎ子どもの心のケアハウス運営支援事業」での実績など一定の成果が出ていること、体力・運動能力については、様々な取組により少しずつではあるが、状況が改善方向にあることから、「やや遅れている」と判断した。</li> </ul> <p>&lt;施策を推進する上での課題と対応方針&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・委員会の意見を踏まえ、不登校児童生徒に対する対応や体力・運動能力の向上に対する取組について、具体的な対応方針等を追記する。</li> </ul>	やや遅れている (やや遅れている)	「将来の夢や目標を持っている」と答えた児童生徒の割合(小学6年生)	B(ー)	新規
					「将来の夢や目標を持っている」と答えた児童生徒の割合(中学3年生)	B(ー)	新規
					「人の役に立つ人間になりたいと思う」と答えた児童生徒の割合(小学6年生)	B(ー)	新規
					「人の役に立つ人間になりたいと思う」と答えた児童生徒の割合(中学3年生)	B(ー)	新規
					不登校児童生徒の在籍者比率(小学校)	C(C)	➡
					不登校児童生徒の在籍者比率(中学校)	C(C)	➡
					不登校児童生徒の在籍者比率(高等学校)	C(C)	➡
					不登校児童生徒の再登校率(小・中)	B(C)	➡
					「不登校児童生徒の個票等を活用した引継を行っている」と答えた小・中学校の割合(小学校)	A(ー)	新規
					「不登校児童生徒の個票等を活用した引継を行っている」と答えた小・中学校の割合(中学校)	C(ー)	新規
児童生徒の体力・運動能力調査における体力合計点の全国平均値とのかい離(小学5年生男子)	C(C)	➡					
児童生徒の体力・運動能力調査における体力合計点の全国平均値とのかい離(小学5年生女子)	C(C)	➡					
児童生徒の体力・運動能力調査における体力合計点の全国平均値とのかい離(中学2年生男子)	C(A)	➡					
児童生徒の体力・運動能力調査における体力合計点の全国平均値とのかい離(中学2年生女子)	C(C)	➡					
施策17 児童生徒や地域のニーズに応じた特色ある教育環境づくり【高校教育課】(P.19)							
概ね順調 (概ね順調)	適切	<p>&lt;政策の成果&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・評価の理由が十分であり、施策の成果について「概ね順調」とした県の評価は、妥当であると判断される。</li> </ul>		概ね順調 (概ね順調)	保護者及び地域住民等に対して学校公開を実施している学校(小・中)の割合(小学校)	B(ー)	新規
					保護者及び地域住民等に対して学校公開を実施している学校(小・中)の割合(中学校)	B(ー)	新規
					学校関係者評価を広く公表している県立高等学校の割合	B(ー)	新規
					学校外の教育資源を活用している高校の割合	B(B)	➡
					特別支援学校の児童生徒が居住地の小・中学校の児童生徒と交流及び共同学習した割合	B(B)	➡
政策8 生涯現役で安心して暮らせる社会の構築 ※保健福祉部保健福祉総務課で評価							
施策23 生涯学習社会の確立とスポーツ・文化芸術の振興【生涯学習課】(P.23)							
やや遅れている (やや遅れている)	要検討	<p>&lt;施策の成果&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・評価の理由が次のとおり不十分で、施策の成果について「やや遅れている」とした県の評価の妥当性を認めることができない。最終評価を行うに当たり、評価内容を検討する必要があると判断される。</li> <li>・目標指標の達成状況及び事業の成果から、「やや遅れている」との評価を行うことについては、現在の記載だけでは判断が困難である。目標指標を補完するようなデータや事業の成果を用いて、施策の成果をより分かりやすく示す工夫が必要であると考える。</li> </ul> <p>&lt;施策を推進する上での課題と対応方針&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・目標指標を補完するようなデータや事業の成果について分析を行い、課題と対応方針を示す必要があると考える。</li> </ul>	<p>&lt;施策の成果&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・委員会の意見を踏まえ、「やや遅れている」と評価した理由を追記した。</li> </ul> <p>&lt;施策を推進する上での課題と対応方針&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・委員会の意見を踏まえ、課題と対応方針を追記した。</li> </ul>	やや遅れている (やや遅れている)	みやぎ県民大学講座における受講率	B(B)	➡
					市町村社会教育講座の参加者数(人口千人当たり)	C(ー)	新規
					みやぎ県民文化創造の祭典参加者数(うち出品者・出演者等の数)	A(B)	➡
					総合型地域スポーツクラブの市町村における育成率	B(C)	➡

<宮城県震災復興計画>

政策・施策【担当課】	自己評価(前年度)	行政評価委員会の意見(答申)	行政評価委員会の意見を踏まえた県の対応方針	最終評価(前年度)	目標指標等	達成度(前年度)	前年度比較
政策6 安心して学べる教育環境の確保【教育企画室】(P.27)							
概ね順調 (概ね順調)	概ね適切	<p>&lt;政策の成果&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・評価の理由に次のとおり一部不十分な点が見られるものの、政策の成果について「概ね順調」とした県の評価は、妥当であると判断される。</li> <li>・施策に付した意見を踏まえ、政策の評価の理由を示す必要があると考える。</li> </ul> <p>&lt;政策を推進する上での課題と対応方針&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・施策に付した意見を踏まえ、課題と対応方針を示す必要があると考える。</li> </ul>	<p>&lt;政策の成果&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・委員会の意見を踏まえ、評価の理由・各施策の成果の状況を追記する。</li> </ul> <p>&lt;政策を推進する上での課題と対応方針&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・委員会の意見を踏まえ、施策ごとの課題と対応方針を追記する。</li> </ul>	概ね順調 (概ね順調)			
施策1 安全・安心な学校教育の確保【高校教育課】(P.31)							
概ね順調 (概ね順調)	適切	<p>&lt;施策の成果&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・評価の理由が十分であり、施策の成果について「概ね順調」とした県の評価は、妥当であると判断される。</li> </ul>		概ね順調 (概ね順調)	災害復旧工事が完了した県立学校数【累計】	B (B)	➡
					スクールカウンセラーの配置率(市町村教育委員会・公立中学校・県立高等学校)	A (A)	➡
					地域合同防災訓練等、具体的な取組が実施されている学校の割合	A (-)	新規
施策2 家庭・地域の教育力の再構築【生涯学習課】(P.35)							
概ね順調 (概ね順調)	概ね適切	<p>&lt;施策の成果&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・評価の理由に次のとおり一部不十分な点が見られるものの、施策の成果について「概ね順調」とした県の評価は、妥当であると判断される。</li> <li>・「地域全体で子どもを育てる体制整備」に向けて行った事業の参加人数だけでなく、効果も具体的に記載した上で、評価の理由を示す必要があると考える。</li> </ul> <p>&lt;施策を推進する上での課題と対応方針&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業実施後の地域の連携体制の在り方を含め、具体的な課題と対応方針を示す必要があると考える。また、家庭・地域・学校が協働して子どもを育てる仕組みづくりや、その仕組みづくりの調整役(コーディネーター)及び地域での子育てを支援する子育てサポーター等の人材の活用について、優れた活用事例を市町村と共有し、次の展開につなげる必要があると考える。</li> </ul>	<p>&lt;施策の成果&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・委員会の意見を踏まえ、「地域全体で子どもを育てる体制整備」に向けて行った事業について、参加人数に加えて、具体的に事業実施の効果を追記する。</li> </ul> <p>&lt;施策を推進する上での課題と対応方針&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・委員会の意見を踏まえ、子育てサポーター等養成事業後の課題である人材活用等についての対応方針を追記する。</li> </ul>	概ね順調 (概ね順調)	家庭教育に関する研修会への参加延べ人数【累計】	A (A)	➡
					地域学校安全委員会等の連絡会議を設置している学校の割合	A (-)	新規
施策3 生涯学習・文化・スポーツ活動の充実【生涯学習課】(P.37)							
概ね順調 (概ね順調)	概ね適切	<p>&lt;施策の成果&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・評価の理由に次のとおり一部不十分な点が見られるものの、施策の成果について「概ね順調」とした県の評価は、妥当であると判断される。</li> <li>・施策全体の事業費の過半を占める「県有体育施設整備充実事業」についても、目標指標を補完するようなデータ等を用いて、事業の成果を示す必要があると考える。</li> <li>また、設定されている目標指標については、目標値を達成しているため、当該施策に関連した目標指標の追加も検討する必要があると考える。</li> </ul> <p>&lt;施策を推進する上での課題と対応方針&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・施策全体の事業費の過半を占める「県有体育施設整備充実事業」についても、課題と対応方針を示す必要があると考える。</li> </ul>	<p>&lt;施策の成果&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・委員会の意見を踏まえ、「県有体育施設整備充実事業」について、事業の成果を追記する。また、当該施策に関連した新たな目標指標の設定について、今後検討していく。</li> </ul> <p>&lt;施策を推進する上での課題と対応方針&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・委員会の意見を踏まえ、「県有体育施設整備充実事業」について、課題と対応方針を追記する。</li> </ul>	概ね順調 (概ね順調)	災害復旧工事が完了した県立社会教育施設・社会体育施設数【累計】	A (A)	➡
					被災文化財(国・県・市町村指定)の修理・修復事業完了件数【累計】	A (A)	➡